

おどろ

議会だより

第130号 2024. 4. 13



注目!

大紛糾の予算委員会！！

不要な公共施設は減らせ！！ … 2

定例 3 月 会 議

令和 6 年 3 月 7 日 から 15 日 まで

新 年 度 予 算 一 部 議 員 は 賛 成 せ ず !



予算の提案は町長 決めるのは議会です

予算特別委員会で質疑続出！
熱く深く突っ込んだ2日間

定例3月会議の主なテーマは新年度の予算を決めることです。

予算特別委員会（議長を除く議員7名で構成／今田光弘委員長）を設置し、執行部との質疑を集中して行いました。

明日の小値賀町、町民の皆さんのため、皆さんが納得できる予算か否か、冷静さを心がけながらも時には熱く深く突っ込んだやり取りを2日間続けました（主なやり取りは5ページ）。



橋本 武士委員

質疑では委員と執行部と考えが大きく異なる部分もあり、審議後も委員間で徹底的に議論を交わしました。

その後の特別委員会での採決では、令和6年度小値賀町一般会計予算は原案に賛成が4、反対が2の賛成多数、5つの特別会計予算と2つの公営企業会計予算については全員原案に賛成という審査結果となりました。

賛成多数で予算成立

特別委員会での審査結果を受けて本会議へと進みます。

予算特別委員会での審査結果の報告の後、一般会計では議長を除く議員7名全員が**討論**を行い、採決の結果、賛成5、反対2の賛成多数で可決成立しました。

特別会計と公営企業会計は、すべて全員が賛成、可決成立しています。



立石 光助委員



森岡 正雄委員

※ 討 論

自分の意見に反対する者や、賛否の意思を決めていない者を自分の意見に賛同させることを目的として、賛成または反対の意見を表明すること。

賛成または反対についての理由を明確にして論議すべきものとされており、原則として一人一回、反対者・賛成者の順に行う。



小辻 隆治郎委員

一部議案で質疑続出 論点・争点まとまらず 採決せず 特別委員会を設置 継続審査に

「町長、副町長及び教育長の給与改正議案」 「議員報酬改正議案」

条例改正案（町3役）	
町長…598,000円	→ 616,000円に
副町長…495,000円	→ 510,000円に
教育長…486,000円	→ 501,000円に
条例改正案（議会）	
議長…255,000円	→ 263,000円に
副議長…198,000円	→ 204,000円に
議員…180,000円	→ 186,000円に

今回の定例会議に提出された条例改正案は18件。その中で、町長、副町長、教育長（いわゆる町3役）の給与を改正する条例と議員報酬を改正する条例の2つの議案が出されました。町長がこれらの給与等の改正案を議会に提出しようとするときは、特別職報酬等審議会の意見を聴くものとされています。その審議会の答申を受け、左のような改正案が提示されました。

3役の給与改正案 主な質疑

- 問なぜ改正するのか。
- 答年収にすると3役より職員給与が上回っている。ある程度責任もあり、職員の年収より低いのはおかしい。
- 問金額の根拠は。
- 答物価上昇率を考慮した。
- 問審議会のメンバーには有識者は入っているのか。
- 答銀行の支店長、漁協の組合長などが含まれている。

議員報酬の改正案 主な質疑

- 問なぜこの額なのか。
- 答3役の改正額と同じく物価上昇率を考慮して3%アップとした。
- 問議会からは報酬の算出方法と報酬額について以前から執行部においている。
- 答審議会は町民の代表であり、その諮問を尊重した。
- 問議員のなり手不足の1つの大きな要因が報酬の低さだ。この額ではなり手不足の解消にはつながらない。
- 答報酬を上げたからと言って議員のなり手不足が解消

するとは思えない。議員の仕事に魅力がない。議員が何をしているのか見えないからではないか。

問県内でも報酬額を大きく見直している市町があるが、本町は圧倒的に低い。

答報酬額は県内の他町と比較するものではなく、全国の類似団体の平均的な額なので十分だと考えている。



今田 光弘議員

2議案採決せず継続審査へ

これらの質疑を受け、論点や争点を明確にしたうえで各議員の判断ができるよう、会議を中断して議員間で自由討議を行いました。

その結果、さらに時間をかけて調査研究を進める必要があるとの認識で全員が一致、今回の定例会議では採決せず、新たに設ける特別委員会に継続して審査を進めることになりました。

その他の議案は成立

その他、会計年度任用職員に勤勉手当を支給できるようにする条例の改正、介護保険の保険料の一部改正、医師住宅の使用料を月額1万6千円とする条例の改正などはすべて全員が賛成し、原案どおり可決成立しています。

一般質問では今田光弘議員、江川春朝議員、橋本武士議員、立石光助議員の4名が町民を代表し、自分の想いや考えを踏まえて町長の考えを質しました（12ページ）。

また、本町の目指すべき将来像とそれを実現するための基本戦略と施策をまとめた「第5次小値賀町総合計画」も審議しました。

町民の皆さんの意見や気持ちを反映させた中で、本町の現状と課題、将来像などを町民全体が共有し、課題解決に向けて一体となつて進めていく指針となるもので、これも全会一致で可決成立しています。

令和6年度のお金の使いみちが決まりました

予算総額 38億1000万円 (一般会計歳入・歳出ともに)

町民1人当たり174万円

(前年度当初予算とほぼ同額)

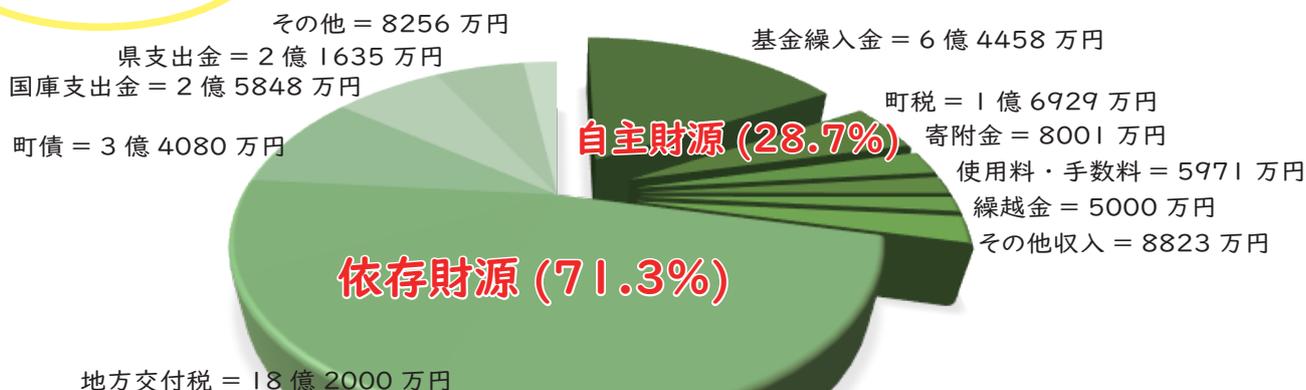
歳出

令和6年度に使われる町の大切なお金の内訳

総務費	6億4454万円	1億859万円減	役場全体の維持管理、徴税、選挙などに要する費用
農林水産業費	6億3999万円	8787万円増	農林水産業の振興や松くい虫防除などに要する費用
民生費	6億2301万円	734万円減	社会福祉、児童福祉、生活保護などに要する費用
衛生費	5億2843万円	1142万円減	保健衛生、環境衛生、健康、清掃などに要する費用
教育費	4億906万円	4717万円増	小中学校、公民館などの管理や離島留学に要する費用
公債費	4億809万円	1695万円減	町債として町が借りたお金を返済する元金と利子
土木費	2億2451万円	2710万円減	道路や町営住宅の維持管理などに要する費用
商工費	1億3465万円	576万円増	商工業の振興や観光に関する費用
消防費	1億719万円	4339万円減	消防団や消防署などに要する費用
議会費	5116万円	367万円減	議会運営や議員に係る費用
その他	3939万円	1333万円減	諸支出金、予備費など
合計	38億1000万円	9100万円減	(前年度当初予算額との比較増・減)

(端数処理により内訳と合計が一致しない)

歳入



依存財源：国や県から定められた額を交付・割り当てられるお金や金融機関から借りてくるお金
自主財源：町が直接集めるお金（この比率が高いほど自主的な財政運営ができる）

一般会計予算審査

～予算特別委員会での質疑の一部～



歳入関連

ふるさと寄付金増額の見込み

問 町民税の個人均等割が前年度より減り、所得割が増えているのはなぜ。

答 個人均等割は対象者が20人ほど減り、所得割は給与所得者分が増えるの見込んでいるため。

問 町内の法人事業者数は、答 35 法人。

問 一般寄附金が前年度より3千万円増額の理由は。

答 ふるさと寄附金が伸びており、昨年度の実績を反映させた。

問 企業版ふるさと寄附金の計上がないのはどうしてか。

答 やる気はあるが、実際に企業とはやり取りしていないため計上していない。

問 資源物販売収入50万円の内訳は。

答 回収した段ボールと古紙の売却金額だ。

問 それ以外の資源ごみは売れないのか。

答 今後、缶や金属ごみなどを収入として計上できるように考えていきたい。



最終処分場の金属ごみ

歳出関連

エレベーター設置は慎重に

問 庁舎の老朽化に伴う改修工事のための実施設計が計画されているが、エレベーターは設置する計画か。

答 町民アンケートでは設置希望者が多かったので、それを含めた設計を行う。

問 設置費用や維持費用を提示していないアンケートはいいかなものか。高齢化は進んでいるが、窓口を一本化

するなど他に方法はないか。十分な検討が必要ではないか。

答 実施設計の中で概算工事費を出し、必要に応じてアンケートをとることなども検討していきたい。

問 定住支援業務委託料が前年度より170万円増額しているのはなぜか。

答 サポートセンターの窓口を常設し、そのための先進地視察や人件費などに充てるため増額した。

問 いろいろな職業で後継者不足が深刻だ。島外の業者を利用することでお金も島外に流れてしまう。早く設置すべきだ。

答 なるべく早く設置し、移住者の確保に向けて努力していきたい。

ホームページに1500万円？

問 ホームページリニューアル費用として1500万円計上しているが高すぎないか。

答 現在のホームページはフリーソフトを利用しているが、これからは独自に開発したシステムをしようと考えており、それに費用がかかる。他の市町では2000万円くらいかかっていると聞いている。開業者の選定は。

答 提案型のプロポータルを考えており、出された提案を慎重に審査して決めていきたい。



(次ページに続く)

本町のHP お世辞にも見やすいとは言えない

高校魅力化推進に55万円？

問 高校の魅力化推進事業補助金55万円は少なすぎないか。

答 昨年度はシンガポールへの修学旅行があったが、今年度は物価高騰などの影響で海外への修学旅行は計画していないため減額した。

問 海外に行くことにより海外だけでなくふるさと小値賀のことも考えるようになっている。海外への修学旅行は続けてほしい。本町とつながりの深い韓国でも良いのでは。

答 見積もりを数社とっているが、やはり高いので難しい。

県の事業で高校生の海外研修制度がある。それを積極的に利用してほしい。

問 とにかく高校の魅力化をもっと進めてほしい。

答 学校と連携しながら小中高一貫教育の中で英語力を高める努力をしている。町独自のALT制度も新年度から計画している。

開催1日で250万円？

問 「こどもでじまはく」に250万円の予算。昨年は無料だったが。

答 昨年は主催者のご厚意で無料だった。島外からも含め多くの子どもたちが楽しめたイベントで今年も開催を予定している。

問 1日で250万円は高すぎないか。

答 島内に親子で遊べる場が少なく、来場者も300人を超え評判も良かった。

問 250万円あれば年間を通じて楽しめる遊具を設置できるのでは。

答 なるべく安く済むよう努力はしていきたい。

問 子どもだけでなく、家族全体で楽しめるイベントなので意義はあるのではないか。

答 一定の効果はあると思う。今後検証を進めていきたい。



あわび館の改修は必要か？

問 あわび館を改修するための実施設計業務委託が計画されている。改修内容は。

答 1階の水槽を撤去、フロアを整えて多目的イベント広場とし、2階は展示スペースを減らして子どもが遊べるスペースをつくる予定だ。

問 今から負の資産になるものに何千万円もの改修費用をかけていいものか疑問だ。

答 町民の意見を聞き、暫定利用実績も踏まえて出された結論であり、今後も有効活用を図りたい。

問 内部にある水産加工場の維持は必要だと思うが、イベントは町内の他の施設でもできるのでは。

答 検討委員会では廃止も含めて検討したが利活用する結論となった。

問 公共施設の老朽化が進む中で、古くなったものは整理していく必要があり、世の中動き逆行しているのではないか。

答 検討委員会での結論を尊重していきたい。

反対

私はこの予算案には賛成できません



反対討論する江川議員

アワビ種苗センター関連予算は、アワビの亡霊にとりつかれ、過去に引きずられている。未来への投資である藻場造成、ブルーカーボンのクレジット化へと向かう転換期に来ている。

「こどもでじまはく」は、多額の予算を投入しての開催は、子どもの親も望んでいないと思う。子どもや子育て世代を応援するとは言っても、このやり方は民意の感覚と乖離している。

あわび館は、年に数回のイベントであれば改修せず今のままでも実施できるのではないか。建物の償還期間が終わる10年後のその先はもう役目を終えた場所。改修はすべきではない。



反対討論する横山議員

北松西高校への進学率が著しく落ちている中、高校の魅力化について関係者が真剣に協議しているにもかかわらず、それにつながる予算を減額していることには、いかなる理由があろうとも納得がいかない。

「こどもでじまはく」は1日限りの催しであり、投資効果に疑問を感じる。長く利用できるいろいろな遊具をそろえるべきではないか。

古い施設であるあわび館を多額の費用をかけて改修するのであれば、もう少し時間をかけて検討が必要だ。

利活用検討委員会と議会の論点もかみ合っていない部分があるように感じ、再度慎重な検討をお願いしたい。

特別会計予算

令和6年度5会計予算総額 10億1920万円

国民健康保険事業

4億5170万円

主な歳入

県支出金	3億4280万円
国民健康保険税	7998万円
一般会計から繰入	2867万円

主な歳出

国民健康保険給付費	2億7892万円
県への納付金	9769万円
特定健診・特定保健指導費	704万円

渡船事業

7880万円

主な歳入

一般会計から繰入	2938万円
国庫支出金	2672万円
渡船事業収入	890万円

主な歳出

はまゆう運航費	3338万円
さいかい運航費	1652万円
総務費	1717万円

介護保険事業

3億9050万円

主な歳入

国庫支出金	1億969万円
一般会計から繰入	6246万円
介護保険料	5769万円

主な歳出

保険給付費	3億5400万円
地域支援事業費	2954万円
総務費	586万円

後期高齢者医療事業

5920万円

主な歳入

後期高齢者医療保険料	3024万円
一般会計から繰入	2502万円

主な歳出

広域連合負担金	5086万円
総務費	779万円



国民健康保険診療所

3億9000万円

主な歳入

一般会計から繰入	1億6204万円
診療収入	2億898万円
町債	510万円

主な歳出

医薬品衛生材料費	1億181万円
医業用機械器具費	2054万円

公営企業会計予算

新年度から本町では簡易水道事業と下水道事業を「小値賀町公営企業会計」に変更しました。

民間企業と同じ会計基準となり、損益計算書や貸借対照表などの作成により経営状況が明確になります。

また減価償却の考え方が導入されることで、資産の老朽化の状態が正確に把握できるようになります。

切り替えにあたっては職員の皆様のご苦勞もあつたと思いますが、今後、経営意識が高まることにつながることを期待しています。

簡易水道事業

接続戸数 = 1,424 戸

年間総配水量 = 255,378 m³

収入

水道事業収益	1億1476万円
資本的収入	2102万円

支出

水道事業費用	1億1476万円
資本的支出	4856万円



下水道事業

接続戸数 = 1,016 戸

年間総処理水量 = 165,406 m³

収入

特定環境保全公共下水道事業等収益	1億6708万円
資本的収入	1億3486万円

支出

特定環境保全公共下水道事業等費用	1億6526万円
資本的支出	1億9988万円

新年度の新たな事業

事業の効果が効率的に発揮されるか議会は注視しています。

養殖事業者の冷凍庫整備および
自営大型定置網の整備事業

7,125 万円

冷凍庫は唐見崎港に設置予定



獣医師住宅整備事業

5,900 万円

農協集荷場裏に今年度は一戸建設予定



子育て短期支援事業

43 万円

登録里親のもとで預かり保育が可能となります



し尿処理場補修事業

9,100 万円

1997年の稼働開始から27年が経過し
老朽化が進んでいます



屋内児童遊戯施設整備事業

58 万円

雨の日でも子どもたちが活発に遊ぶことができる
ように遊具を購入します



※写真はイメージです

マイクロ無線による超高速
ブロードバンド環境整備事業

7,100 万円

大島・納島でのインターネット環境の整備を進めます



新年度も続ける事業

小値賀町全体の福祉につながっているか議会は常に注視しています。

新上五島可燃ごみ搬出事業

5,429 万円

可燃ごみをできるだけ減量する必要があります



旧野首教会保存修理事業

8,917 万円

工期は令和7年6月30日までの予定です
このような大規模修理が見られるのも貴重



写真提供：おぢかアイランドツーリズム協会

最終処分場

家屋廃材島外搬出業務委託事業

2,000 万円

もう少しで搬出し終えそうですが
電線などがついたままの廃材は搬出できません



大島漁業集落排水施設

機能保全工事

6,720 万円

施設の適切な管理は、美しい海とそこで暮らす生き物、
子どもたちの笑顔、そして私たちの食の安全を守ります



医療機械器具購入事業

816 万円

血糖値の検査機器などを購入します

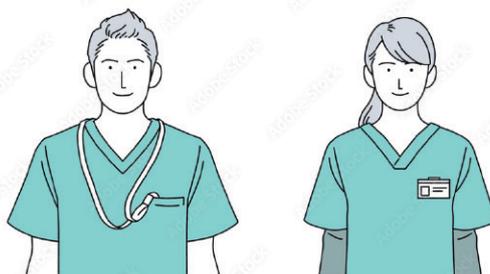


医療・福祉・介護人材

就職支援事業

180 万円

対象者が看護師、保育士にも広がります



春も楽しい行事が たくさんありました!!



優勝した中村・松ヶ丘チーム



禪と一緒に思いもつなぐ

1月28日、町内一種駅伝大会がありました。
インフルエンザが大流行して急遽出場を断念するチームもありましたが、参加した全7チーム、子どもから大人まで一生懸命にタスキをつないでいました。

町内一周駅伝大会



和太鼓演奏 園児とはいえ迫力満点でした!



元気いっぱいだよ!

2月17日、若者交流センターにて、こども園の発表会がありました。
踊って、歌って、演じて、元気いっぱいのおちかっ子を見せてくれました。
来場者はそんな子どもたちにもメモロでした。

こども園発表会



江川親子による オペラ「椿姫」より乾杯の歌



うるさくてすみません。。

3月10日、離島開発総合センターにて、おちか音楽フェスティバルが開催されました。
町内外から全11組が出演し、大変な盛り上がりでした。
江川議員と森岡議員が出演しました。たくさんのご来場ありがとうございました!

おちか音楽フェスティバル



美しきハーモニーに酔いしれました



ちかまるくん登場!

3月28日〜4月1日、おちか国際音楽祭が開催されました。
音楽は私たちの心を癒し、奮い立たせてくれます。
たくさんさんの音に包まれた至福の時間でした。演者、スタッフの皆さんお疲れさまでした。

おちか国際音楽祭

卒業式

小値賀こども園



4月からピッカピカの一年生です！お勉強頑張るぞ！みんな見ててね！



3月19日、大きく成長した我が子の姿に、保護者の皆さんも感無量だったのではないのでしょうか。
しっかりと卒園証書を受け取る姿は、立派なお兄ちゃんお姉ちゃんでした！

小値賀小学校



お父さんお母さんありがとう！こんなに大きくなりました！勉強、部活頑張る！



3月14日、小さな体に大きなランドセルを背負って校門をくぐった6年前。
今やそのランドセルはすっかり小さくなってしまいましたね。中学生になっても勉強に部活に頑張るって！

小値賀中学校



挑戦 = 成長、決して失敗を恐れるな。それぞれの道で みんな輝け！！



3月13日、約半数が島外の高校に進学するため、幼い頃から共に過ごした多くの仲間との別れの卒業式でした。
式後の教室での最後の挨拶は、それぞれが思い思いの言葉を紡ぎ、全員が涙涙でした。

北松西高校



どんな困難があったとしても、君たちにはこんなにも素敵な仲間がいるよ！



3月11日、いよいよ小値賀での最後の卒業式です。
卒業生6人全員が、それぞれの夢を実現するために島外へ出ます。
みんなの夢が叶い、幸せいっぱいの人生となりますように。

る施策の取り組みを！！

若者に魅力ある施策 〓 移住・定住者へのアピールだ！

関係者と議論し 実施に向けて検討したいと思う



いまだ みつひろ
今田 光弘 議員

こちら動画が

見られます！



YouTube

少子高齢化・人口減少を解決するために、多くの自治体が競い合うように移住定住のための施策に取り組んでいる。

本町においても特に子育て支援と教育環境の整備に力を入れているとされるが、現在の人口は約2170人、去年一年間で43人減り（社会減一人）、現実は厳しい。

これまでに施策を続けるだけでは、総合計画に掲げている「10年後の人口1000人」、「子ども一学年当たり15人」

の実現は難しいのではないか。

子どもに手厚い支援を

園給食費を無料にできないか。
● 少子高齢化や人口減少、物価高が続く中において子育て支援の施策の一つとして給食費の無償化を実施したい考えはある。

しかしながら、国による学校給食費の無償化に向けた動きがあることや、本町教育委員会からは慎重な意見もある

ようなので、関係者からの意見や議論を踏まえて実施に向けて検討したい。

● 園子ども医療費を無料にできないか。

● 無料化する自治体が増え続けていることは承知しているが、一方で過剰受診などが問題化している。

全国町村会や長崎県からも「子どもの医療費助成」について、全国統一的な制度での無料化を要望しているの、国の動向も注視しつつ慎重に判断していきたい。

● 園在宅で育児している皆さんの経済的負担を減らせないか。

● 現金給付、おむつや粉ミルク等の現物給付など、自治体により支援方法や支援額も様々であるので、子育て世帯等のご意見や実施自治体の事例も参考にしながら、前向きに検討していきたい。





若い町民にとって魅力あ

小値賀ならではの教育で 小中高の魅力化を

問 高校だけでなく、小中学校の魅力化も進めるべきではないか。

答 本町の魅力は農業、漁業など、本物を身近に体験できることだ。

子どもたちの成長過程に応じた島ならではの体験活動を通して、高校だけではなく小中学校の魅力も高まると考えるので、各学校や関連団体と体制を築きすすめていきたい。

ホームページを一新し

情報発信を強化を

問 情報発信が足りないように思う。もっと強化するべきだ。

答 令和6年度にホームページの全面的なリニューアルを予定しており、高度化・多様化する閲覧者のニーズにこたえられるよう取り組んでいく。

町営・町有住宅を増やし 移住者のサポートを

問 定住促進住宅は原則3年で退居しなくてはならない。その後住宅を探すのは非常に困難だ。もっと町営・町有住宅を増やせないか。

答 近年は退去者数が入居者数を上回り、令和5年には5回の入居者公募を行ったが、入居者数1件に対し退居者数は15件あり、2月末現在で町営住宅12戸、町有住宅で3戸の空きがあることから、増設は行わず民間に対し建設にかかる補助金を創設し、賃貸住宅政策、空き家改修事業補助金や3世代同居、近居促進事業補助金の活用を促進したい。

移住サポートセンターを 設置しニーズに応える

問 「移住・定住のワンストップ窓口」の部署をつくってはどうか。

答 移住・定住に関する対応については、外部委託により「定住支援員」を設置し、移住希望者の相談や島内のアテンドのほか、定住に向けたフォローアップ、移住者が少しでも早く地域に溶け込めるよう移住者交流会などを開催している。また、令和6年度から移住・定住に関するワンストップ窓口となる「移住サポートセンター」を設置し、定住支援員業務と合わせて運営を行っていく。

模擬公聴会

【私にも言わせて】

移住者にとって家の問題は深刻で、住宅の確保は大きな課題だ。

また、人口が減り続ける中で、今ある日常サービスをどのよう継続していくかが重要な課題だ。

【質問を終えて】

町も町民の皆さんも助け合って、価値観はそれぞれ違う中でも穏やかで幸せに暮らしてきた小値賀町。でも人が減って子どもも減ってコミュニティの維持も難しくなってきた今の小値賀町。

その中で町が、島に暮らしている皆のことをどれだけ大切に思っているか、ずっと幸せでいられるように手を差し伸べているか、先を見据えて真剣に考え、実行しているか。

限られた財源の中で施策の取舍選択をしっかりと見極める必要があると思います。



フル、焼却炉について

町民の努力でゴミが減っている 町民に見える化を！

町民のモチベーションが上がるよう努める



えがわ はるとも
江川 春朝 議員



YouTube

こちら動画が見れます！

ごみの分別と リサイクルについて問う

問 町民の皆さんの協力のもと成り立っているごみの分別だが、島外搬出を続けていくうえでごみのリサイクル率を上げ、ごみの減量化を進めるためには町民のやる気を引き出すことも重要だ。

答 本町から搬出された資源ごみの買取価格等が見える化してはどうか。

答 買取価格が分かる資源ごみについては、古紙類のみで令和4年度での販売実績が53万円となっている。

問 プラスチック類やペットボトル、ビン、紙製容器包装などのリサイクルについては「容器包装リサイクル法」に基づき、「日本容器包装リサイクル協会」が再商品化事業者を入手で取り定めているため、個別の買取価格は不明だが安価で出荷できる仕組みとなっている。

問 その他の鉄くずや缶類については業者へ委託し、買取価格を差し引いた分で搬出しているが、古紙類のように買取価格を明確にできないか、他の市町を参考に検討したい。

答 本町から出荷される資源ごみは、町民の皆様や現場作業員の努力もあり、品質調査で高い評価を得ている。

問 買取価格、数量、品質調査の情報をおぢか新聞やホームページ等に掲載し、町民の皆様がリサイクルに対してモチベーションが上がるよう努めたい。

問 有料ごみ袋は小値賀の「小」の文字が表示を邪魔しているわかりづらいので、デザインを変えてはどうか。

答 在庫が尽きれば検討したい。

問 町民の協力もあり島外搬出のごみが100トン削減し、搬

出負担金が590万円減ったが、空き缶や金属等の収入が見えないのが気になる。

答 資源ごみは相殺して運搬の委託料等を支払っている状況だ。

問 ごみの問題は、町民の暮らしにも直結しているため、強い意識をもって行政運営を行ってほしい。

答 その覚悟でやらせていただく。





ごみの分別、リサイクル

焼却炉について

問 これまでの町長の答弁で、畳や布団など大きい物は町内処分も考えたと発言があった。

大規模焼却施設は無理だが、身の丈に合った焼却炉は導入できると解釈し、燃焼型ではない二つを紹介する。

一つ目は、海ごみもそのまま処理でき有害物質の発生がなく、分解過程で軽油、灯油、重油を作れる循環サイクル型の熱分解装置である。

二つ目は、活性炭素分解装置で、空気中の酸素を使うので燃料が不要であり、殺菌効果があるため、医療、感染症廃棄物にも適する。

このような脱炭素につながる最新設備を導入してはどうか。

答 可燃粗大ごみの対応は大変苦慮しており、熱分解装置の導入も選択肢である。

本町の規模に見合った施設を検討していく。

問 最先端実証実験等、町の財源を使わない導入方法も含め、総合的に進めるべきだ。

その上で、処分の対象を布団や畳、海ごみ、家屋廃材等、どこまでの処理を考えているか。

答 畳や布団、家屋の廃材の処理と考えているが、海のごみについては考えていなかったため、熱分解装置も含め協議する。

問 発泡スチロールの搬出は、空気を運ぶのと同じで環境負荷になる。

一般的な焼却炉では有害物質が発生し、塩素で焼却炉が痛むため埋め立てが多い。

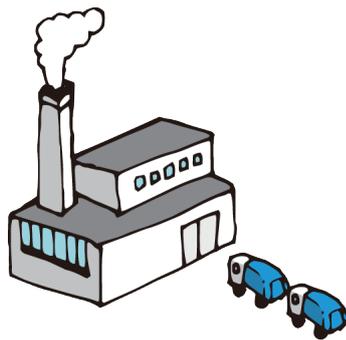
最新設備の導入を踏まえ、海ごみも処分対象にしてはどうか。

答 海ごみの大きい物等についても、処分を検討する。

模擬公聴会

【私にも言わせて】

ごみ袋の大中小の区別の表示は分かりにくい。常に相手思いの情報発信を心がけ、一度立ち止まり、相手の立場に立って見直してから進めて行って欲しい。



また、海洋漂着ごみの処分については、離島振興協議会を通じて、国に国庫補助金を要求している。

問 他の離島の先頭に立つための強いリーダーシップを発揮し、全力で取り組んでほしい。

答 離島振興協議会の理事でもあるので、組織を通じて要望していきたい。

【質問を終えて】

議会だよりでは内容を要約している為、一般質問の細かい内容は見えませんので、興味のある方はYouTubeを見てもらえると光栄です。その中でも、有料ゴミ袋のくだりは、おもしろい部分もありますので、是非ご覧ください。

議員になりもうすぐ1年が経ちますが、一般質問の数だけ町民の皆さんの声を届けることができると思いますので、これからも皆様のご意見を一番に大切に、どんどん質問していきたいと思ひます。

カメラ設置について

定点カメラを設置し 世界にライブ配信を！

情報発信に有効であれば設置を検討する

A Q



はしもと たけし
橋本 武士 議員

ここから動画が見られます！



YouTube

防犯カメラの設置を

閩町内には防犯カメラがない。この現状について町長の見解を伺う。

答 本町の令和4年度の犯罪数は合計8件であり、犯罪の少ない本町では、各要素全体への防犯カメラの設置は必要はないと考えている。

防犯カメラには住民の犯罪への不安を軽減させ、安心感を高める効果があり、犯罪抑

止効果もある上、事件事故後の状況確認や証拠として検証され、解決に有効な手段である。

一方で、設置する場所や利用方法によっては、プライバシーの侵害の懸念もある。運用コストの負担もあるが、一定数は必要だと思う。関係機関と前向きに協議する。

閩カメラ設置により人員が張りつき監視するのではなく、上書き録画で古いものから自動的に消去されるものでいい。そして、開示する時の条例も必要になる。

私が一番必要だと思う場所は、公園、そして、こども園である。

何かが起きた時、話し手、聞き手によって、事実と異なってしまうことがあるが、カメラの映像であれば一目瞭然である。

記録の開示は、

- ① 防犯防災、交通安全
- ② 災害現場検証
- ③ 行方不明者などの捜索
- ④ 不法投棄の防止
- ⑤ 個人の生命身体、または財産の安全を守るために必要な場合
- ⑥ その他、町長が特に必要と認めた場合。

というような縛りをかけ、通常時には見る必要性はない。

本町では、薄暗い道を子どもがたった一人で歩いていることがあるが、このような状況は絶対に駄目なことだと思う。万が一そこで何かあったときに、まずは街灯はもちろん必要だが、そこに防犯カメラがあれば尚更よい。

設置数には限りがあるだろうが、設置する要所をしっかりと検討して欲しい。

答 本町全体に防犯カメラを設置するのは様々な面から難しいが、公の施設については一定数は必要だと思う。今後協議し、前向きに進める。



情報発信のための



情報発信のために ライブカメラの設置を

問 情報発信のために、町内に定点カメラを設置して、SNS等を利用して本町の風景を24時間ライブ配信をしてはどうか。

答 野崎島自然学塾村に定点カメラを設置している。

以前はホームページのトップ画面にバナーを設置し、リアルタイムで閲覧可能な状態にしており、当時のアクセス数は年間約9千件の利用があった。その一方、施設の利用者の特定など、プライバシー保護の面における問題が発生した。現在はホームページに設置していたバナーを削除している状態である。

定点カメラによる情報発信も有効だが、まずは運用ルール等を検討し、野崎島のカメラで検証を行い、利用状況を勘案し、情報発信のために有効と判断できれば、町内での設置も検討する。

問 東日本大震災から13年、今年には能登半島地震、その都度報道を通じて映像が流れるが、あれは定点カメラだと思う。

現在はスマホの普及もあるが、やはり自治体が自ら証拠を残すために、定点カメラは必要だと思うし、U・Iターンの誘致にも繋がると思う。

船の発着の汽笛の音、故郷を思う出身者達、島を思いながら外で働いている人の中には、いつかは帰りたいと思っている人もいる。

フェリーの発着をいつでもスマートフォンで見ることができれば、柳、唐見崎からでも、小値賀港の荒れ具合を知ることがができる。

島内の人にも、島外の人にも、双方に発信出来る定点カメラを何とか実現できないか。

答 人の映り込み、プライバシー等、配慮した上で検討する。まずは、今ある野崎島の定点カメラを修理し、アクセス数など確認、調査する。それと並行して運用ルールを定め、前向きに進めていく。

【 質問を終えて 】

安心安全なまちづくりの第一歩がこの島にないと思い、防犯カメラの設置について質問しました。観光誘致の推進や交流人口を増やしているという取り組みがされている本町で、その本気度を知りたいと思いました。本気で取り組むなら、その準備や危機管理は必須です。今後その検討を強く求めていきたいです。

定点カメラについては小値賀島の美しさを誰でもどこからでも観ていただけるようにしたいと思い質問しました。島を出て他の地で頑張る人やこれからそうなる人にいつでもどこでも小値賀を感じてほしいと思って提案しました。やれるぞ!小値賀!



助公園一帯について

五島沖に活断層が見つかったもはや待ったなしだ！

活断層を考慮し 必要に応じて計画を更新したい



たていし こうすけ
立石 光助議員

こちら動画が

見られます！



YouTube

大地震の備えについて

閩地震調査委員会が五島沖活断層の存在を公表し、マグニチュード7.0以上の地震が起きる確率は1〜3%と結論が出ており、確率的には能登半島地震と同程度である。

県もこの活断層に対し調査事業一千万円を計上しており、調査結果によっては被害想定の見直しもある。

本町においても、いつ地震が

起きてもいいように備える必要性が高くなっているが、本町の地震対策と今後の方針について伺う。

【答】防災対策は重要である。本町国土強靱化地域計画を策定、小値賀町地域防災計画を更新している。

両計画とも県の調査報告書で挙げられた、震度6弱の地震を想定した計画である。

これらの計画をもとに、非常用の備蓄、防災訓練や情報伝達訓練を実施している。

今後は町民の防災意識の向上や対応力強化を図り、五島沖活断層も十分考慮し必要に応じて計画を更新する。

閩耐震基準を満たした避難所数、収用人数、備蓄は何日分あるか。

【答】指定避難所は2912人を想定し、食糧は人口の5%の3日分を備蓄している。

耐震基準を満たした避難所数は、後ほど資料を提供する。

閩国土強靱化計画には、建築物の耐震化率の向上が第一にあるが、本町に家屋の耐震化の助成はあるか。

【答】現在個人の持ち家に対する補助制度はないが、地区公民館など自身で避難所開設する場合は、開口部補強に補助を出す計画である。

閩家全体の耐震化は高額になるため難しいと思うが、足腰が弱っている人は逃げ遅れる可能性があるので、一部屋だけを耐震のシェルターに改造したり、耐震テーブルの購入補助はどうだろうか。本町でも、最低限命を守る為の補助は必要ではないか。

【答】個人への補助は、上限設定など踏まえ、財政的な部分もある。近く方針を出すのは難しい。まずは町民に、地震に備える注意喚起等から始めた。





大地震の備えと運重

総合運動公園の 利活用について

● 総合運動公園は、体育館、交流センター、バーベキュー広場、近くには海、赤浜公園に抜ける山道、田んぼや牛の放牧地などあり、体を使った野外活動に良いフィールドだ。

● 雨の日の遊び場は、公園の遊具と同様に子育て世帯からの要望が強い。

● 幼少期の体を使った活動は、忍耐力や協調性などの非認知能力の発達への関係も確認されている。

● その能力の育成に貢献できる運動公園中心のエリアで、子どもが遊び、子育て世帯が気軽に交流できるフィールドとして活用してはどうか。

● 雨の日の遊び場は、総合計画でも安心子育て支援の充実において整備を掲げており、ニーズに合わせて整備する。

● 新規の児童遊戯施設整備事業で、まずは乳幼児や児童を対象として整備する。

● また、あわび館利活用計画に、親子で楽しむ場所として機能を持たせると明記しており、

● 改修に向け実施設計を行う。

● 体育館内での遊びは、室内児童遊戯施設整備事業を組み合わせて実施できる。

● 運動公園を中心としたエリア改善は、運動公園の利用方法の見直しも含め検討する。

(町長)

● 新しく遊具を買うだけでなく、閉校した学校の運動マットや跳び箱などを有効に使うべきではないか。

● 眠っている備品で使えるものがあれば活用し、利用者目線で整備を進める。(教育長)

● 体育館、交流センターは避難所になっている。

● 避難備品の段ボールベッドなどを自由に使う事ができれば、日頃から災害時に使うものに

模擬公聴会

【私にも言わせて】

● 避難行動を自分ごととするためには、注意喚起以外にも日ごろよく行くところを避難所にするなど、日常の行動と避難行動をリンクさせるような取り組みも必要ではないか。

● 慣れ親しむことができ、防災力向上や安心感にも繋がる。

● また非認知能力向上には、細かい作業も運動と同じく重要なので、大工さんのいろいろな道具を集め、廃材を利用して子どもたちが自由に工作できるようにしてはどうか。

● 避難時の段ボールベッドなどは、活用することは可能だ。

● 工作はいいと思うが、大工道具は子どもたちが使い方がわからないので危険だ。

● その前段として、親子工作教室とか、そういう工夫がまず必要と考える。(教育長)

● 海に親しみ触れる体験として、冬に海に落ちても溺れないような着衣水泳を体験したり、船瀬で水泳大会を開催す

【質問を終えて】

● 災害対策についての一般質問は、前回の令和5年12月会議でいったん終わりと思っていたのですが、元旦に能登地方で大地震が発生したことで「まだ終わってはいけない」と考え直し、今回質問させていただきました。

● 防災力が高いことは、いま、ここで暮らしている私たちのいのちを守るだけではなく、地域の魅力向上にもつながり、転出者を減らし移住定住者を増やすことも期待されるため、時間もお金もかかることではありますが、十分に価値があることだと考えています。

● れば運動公園エリアの創造性は尚広がる。

● 周辺エリアの利用が増せば、耐震化工事し体育館を残す意味も出てくる。防災の観点からも検討してはどうか。

● 学校の水泳の授業でも、着衣水泳や濡れた時の対処方法など教える必要がある。できることから進める。(教育長)

町内の工事のようす

【診療所医師住宅】

完成したばかりなのに空き家??

常勤医師2名体制1年延期

小値賀の医療体制は大丈夫なのか!?

請負：(株)細川建設
金額：9320万円
工期：令和6年3月



施工前



完成したばかりの医師住宅 なんと一棟あたり約4700万円。

3月定例会議において
施政方針で突如発表された
医師2名体制の延期!

7日の施政方針において、令和6年4月より医師2名体制の延期が発表されました。町長の言葉は次の通りです。

「令和6年4月より常勤医師2名体制を目指し、関連機関と協議を行ってきたが、長崎県病院企業団の人事との兼ね合いもあり、1年間先延ばしとなった。

町民に安心した医療を提供していくためにも、医師2名体制の維持は不可欠であり、新年度も長崎地域医療人材センターを始め、上五島病院などの応援、及び外診医師の派遣を継続してもらえるようお願いしている。」

町長は公約としても医師2名体制を掲げていたので、町民の安心のために何としても成し遂げて頂きたいです。

ここで気になったのは、3月末に完成した医師住宅で

す。

新しく常勤医師としてお迎えするためには新築したと言っても過言ではないでしょうから、いきなり出鼻をくじかれた感は否めません。

「新築なのに空き家」
本当に気が滅入ってしまうような話です。

また、非常に高額な事業費も見逃すことはできません。

木造平屋建ての3LDK、延べ床面積90㎡を二棟で9320万円（一棟あたり約4700万円）は町民の価値観から大きく乖離しています。

当然ながら、公共施設は一般競争入札において価格が決められますので、一般的な相場よりも高くなることは分かりますが、それにしても、この面積、この造りで、この価格は…

【大島分校体育館】

外壁の爆裂や雨漏り、
トイレ等が改修されました

請負：(株)友建設
金額：1億1800万円
工期：令和6年2月



施工後



施工前

【農協倉庫整備支援事業】

農業振興の貢献に寄与
することが期待されます

国補助 1 / 2 以内
残額の 1 / 2 以内
を町が補助



施工後



施工前



これまでの車両と比較すると随分と小さく感じる。

2月2日から運航している
新ちかまる号。これまでの
車両と比較すると随分と小
さくなった印象を受けます
が、これは将来的にフルデマ
ンド運行（利用者の予約に
応じて運行すること）を見
込んでのことです。
町の計画では段階的に全
ての車両を小型化し、令和
10年までにフルデマンド運行
に完全移行するとのこと
です。

新ちかまる号
乗ってきました！

しかしながら、早朝の便
は乗れない乗客もいると聞
きます。
本当にこのサイズで良いの
か、検討が必要ではないで
しょうか。
せっかくの綺麗なバスも、
乗りたい人が乗れないので
は何にもなりません。



車内は広々としており、乗り降りも楽だ。



あおぞら座談会開きました！



ぴよぴよ広場は地域福祉センターの2階にあります。

- 令和6年2月8日に、「ぴよぴよ広場」とのおおぞら座談会を開催しました。
- 日頃困っていることなど、自由にご意見を伺い、活発で前向きな座談会となりました。その一部を紹介いたします。
- ①子どもたちの遊び場がほしい。赤浜公園の遊具が復活するとうれしい。
 - ②ぴよぴよ広場は土日が休みなので、総合体育館を土日開放できないか。
 - ③明石市では紙おむつと粉ミルクの無償配布があり、配布の際に保健士と面談している。
 - ④フリーランスで出産は経済的に大変。
年金の免除期間は3か月に対し、こども園は生後半年間預けることができない。

- ⑤妊娠中に往復6時間かけて健診に通った苦労を考えると、次の子どもは躊躇してしまう。
- ⑥お知らせをデジタル化してほしい。
現状、お知らせは紙だが出欠等の回答はLINEとなっている。

- ⑦こども園の待機児童が発生することで、働くことができない親がいて問題。子どもがいる移住者が小値賀を選ばない原因になりうる。
- ⑧病気がどうか自己判断できるツールがあれば助かる。
- ⑨育児用品が循環される仕組みがほしい。

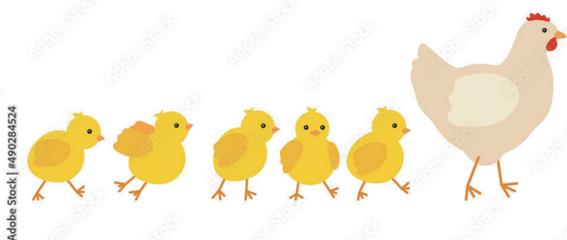
あおぞら座談会

随時受付中！

- ①テーマ自由！
- ②形式自由！
- ③場所自由！
- ④対象者制限なし！
- ⑤5人以上で受付！
- ⑥いつでも開催！

※お問い合わせ、

お申し込みは、議会事務局まで。



新人議員紹介ッ!

議席番号一番 立石光助議員

早いもので、昨年4月の統一地方選挙から1年が経ちました。当初候補者不足が心配されていましたが、新人6人含む10人もの候補者が出馬し、8年ぶりの選挙が大変な盛り上がりを見せたのは記憶に新しいところです。

結果4人の新人議員が誕生し、議会に新風が吹き、日々活発な議論が繰り広げられています。「名前や顔は知っているけれど、どういう人か分からない。」「どんな思いをもって議員になったのか聞いてみたい。」

そんな皆さんに、新人議員4人を4回にわたりご紹介しようと思います。

記念すべき第一回は、議席番号一番、最年少の立石光助議員です。

問自己紹介をお願いします。

答第一回に起用いただき、ありがとうございます!

昭和61年生まれ、佐世保市出身の寅年7歳です。

巷では37という数字を「サウナ」と呼んだりもしますので、小さなサウナ施設を営む私としては「今年にはサウナでオモシロイことをせねば!」と勝手に使命感を抱いています(笑)。



肌が色黒なのは幼少期からのようです。

問小値賀に移住した理由は何でしょうか。

答一目惚れです。ちゃんと話すと長くなります(笑)。

問小値賀では風呂屋に加え、機械の設計、そして議員と、2足どころか3足の草鞋ですが、いつ休んでいるのでしょうか(笑)。

答体と相談しながら適宜休息しています(笑)。前職から仕事と私事の区別なく働いていましたし、そもそも自分で選んだ道なので頑張ることができます。

問この一年を振り返って率直な感想を聞かせてください。

答あまり思うように活動できていませんが、ようやく一年間の全体像が見えたので、今年は活動の幅を増やしていこうと企んでいます。

問立石議員は37歳と、本町の議員では一番の若手です。なぜその若さで議員になろうと思ったのですか。

答なり手不足と知りつつ、出馬するつもりはありませんでした。

しかし、住民の方々とある重要ポストの方から「出ちみらんか」とお声がけがあり、友人や地区の方々に相談し散々悩んだ結果、「移住者・若手・多業」の私が議会にすることで多様性が高まり、いい効果をもたらせそうだなと考え、出馬を決意しました。

問その思いが伝わり、見事当選されたわけですが、当選前と当選後で何が一番変わりましたか。

答生活リズムです。やる事が増えたので、睡眠時間や私的活動等を削りました。

問立石議員と云えば、一般質問では防災・避難所などの質問が多く、非常に防災意識が高い印象があります。その理由を教えてください。

答1年前のある方との出会いがきっかけで東北の震災復興のお手伝いに行き、被災地・被災者と関わりを持ち始めました。

それ以降、どこかで災害が発生した際は、被災地にお手伝いに行くようにしています。この被災地での経験は町のために活かさないといけない、と勝手に使命感を抱いています。

なんだか勝手な使命感多めですみません(笑)。

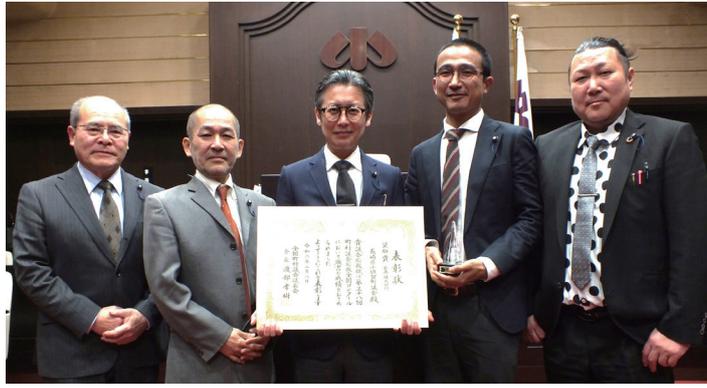
問いえない、素晴らしい志です。今後の目標は。

答色々ありますが、主には地域防災力を高める活動に取り組んでいこうと考えています。そのために、6月に防災士の資格を取得しに行くことを予定しています。

問最後の質問です。立石議員の思い描く小値賀像を聞かせてください。

答豊かな自然と多様な生き物と共に生き、歴史文化が細く長く守り継承され、百年後も出来立てほやほやのカンコ餅を頬張りながら、幸せに暮らしている島。

問ありがとうございます。



議会だより123号(特別号)
 全国町村議会議長会
 企画・構成部門 奨励賞受賞!

令和4年1月2日に発行の議会だより第123号(特別号)が、全国町村議会議長会より企画・構成部門で奨励賞を受賞しました。
 現メンバーで作ったものではありませんが、これからの議会だよりづくりに非常に大きな励みになります。
 これからも町民の皆さんに楽しんでいただけるよう頑張りますので、議会だよりをよろしく願います!

受賞した議会だより
 選挙の起爆剤となった。

大募集!
求む!
あなたの力を!
議会に!

【募集期間】令和4年4月～4年間(無期募集)
 【報酬】月額10万円(選挙事務手当)
 【募集人数】全国町村議会
 25歳以上59歳未満(年齢性別問わず)
 【応募資格】なし
 【応募方法】なし
 【募集時期】不定
 【休日】不定休

小値賀の未来のために!! あなたの力を!!

【投票日】は令和4年4月23日【申込】
 募集期間: 4月1日～4月20日

「もう一言も...」
 「もう一言も...」
 「もう一言も...」



『ギカイの窓』開いています!

小値賀町議会では、町民の皆さんのいろいろな意見をうかがって議会活動へ反映させようと「ギカイの窓」を開設しています。

議会に対してだけでなく町政に対する質問、意見、要望、相談や提言など、町民の皆さんが議員や議会に直接相談できる場で、まずは電話かメールで、議会事務局にご連絡ください。

相談は原則として、役場3階の議員控室で行います。

相談する議員は指名もできます。指名がなければ、相談内容により事務局で決めます。

相談内容の公開は、原則としてご希望に応じます。

なお、公共の福祉に反すること、個人的な要望、議員や役場職員に対する苦情などには対応できませんのでご了承ください。

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
 メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

小値賀町議会
 Facebook

小値賀町議会
 YouTube

編集 小値賀町議会広報常任委員会
 発行責任者 小値賀町議会議長
 電話 0959-56-3111

編集後記

議員8名体制の中、新人4人が迎えた初めての予算議会。そして予算特別委員会に臨んだ。緊張しかない・・・。
 予算の向こうには町民の暮らしがある。

研修で、特に災害時には行政はモノに寄り添うが議員はヒトに寄り添えと教わった。
 新人4人は大きくうなづいた。

思えば共有できていると実感した瞬間でもある。

進行形の少子化や人口減少の問題を小手先のテクニックや理論では解決できないということは、ほんとはみんなわかっている。下を向きそうになる。

でもまて!まてまて!!

今この瞬間2000人強がこの町で泣いて笑って汗かいて生きている。

町長も役場の職員も議員も町民の方々もみんながいての小値賀町。

私たちは微力ではあるけど無力じゃない。

ひとつでも多くの笑顔を勝ち取るためにそれぞれができることを誠心誠意取り組んでいく。

花鳥風月小値賀町。

編集委員 橋本武士